

「日本 GI(性別不合)学会雑誌」投稿規定

(2008 年 12 月 1 日作成)

(2009 年 12 月 1 日改訂)

(2012 年 12 月 1 日改訂)

(2020 年 12 月 1 日改訂)

(2024 年 12 月 1 日改訂)

(2025 年 4 月 1 日改訂)

1. 日本 GI(性別不合)学会では、性同一性障害に関する社会的、医学的諸問題の解決に寄与しうると考えられる原著、研究報告、速報、総説等を広く募集し、学会誌を発行する。日本 GI(性別不合)学会の学術講演会において報告した演題に関しては、特別演題も含めて、演者は学術論文、または二次抄録として学会誌に投稿することを推奨する。
2. 原稿の送付：原稿は A4 サイズに横書き、見本に示す形式で、Microsoft Word 形式（あるいは、テキストファイル形式）で作成し、PDF ファイルに変換したものを最終原稿として投稿する。原本の Microsoft Word ファイル（あるいはテキストファイル）と PDF ファイルの両ファイルを電子メールの添付ファイルとして送信、あるいは、CD-R 等のメディアの郵送により、下記の宛先に送付する。
3. 送 付 先：日本 GI(性別不合)学会雑誌 編集事務局
メールアドレス：jsgid@cc.okayama-u.ac.jp
郵 送 先：〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室
e-mail による受領通知が送られてこない場合は、上記までご確認ください。
4. 著者の情報：著者、または、責任者の連絡先（下記の情報）を送付する。
郵便番号、住所、所属、氏名、e-mail アドレス、電話番号、FAX 番号
5. 最終原稿の枚数（図表、文献を含む）：
 - ① 原著論文、研究報告、臨床、症例：A4 で 8 ページ以内を目安
どのような区分での投稿を希望するかを記述すること。
査読の過程で最終的な区分は決定されます。
 - ② 速 報， letter to editor：A4 で 2 ページ以内を目安
 - ③ 学術講演発表演題の二次抄録：一般演題は A4 で 2 ページを目安
特別講演・教育講演・シンポジウム等は A4 で 2～4 ページ を目安
6. 原稿の形式：（別紙見本参照、原稿作成のための所定の形式の Microsoft Word ファイルは、日本 GI 学会ホームページよりダウンロード可能）。（日本 GI 学会ホームページ URL: <http://www.gi-soc.jp/>）

原稿サイズ：A4

余白：上 20 mm，左 20 mm，右 20 mm，下 25 mm

フォント：MS 明朝（日本語），Times New Roman（英語）

行数・文字数：1 ページ 48 行，一行あたり 50 文字

文字サイズ：表題 14 ポイント，演者名 12 ポイント，所属名 10 ポイント，本文 10 ポイント

句読点：「，」と「。」を使用する。

図表

図や表を含むことができます。本文の適当な位置に（図 1），（表 1）などと表示してください。

図表は本文中の適切な部位に入れてください。

図表は白黒のみを受け付けます。カラーをご希望の場合は別途料金が発生しますので、御相談下さい。

図の場合、タイトルは下部に、図の説明はタイトルの下に記入してください。

表の場合は、タイトルは上部に、表の説明は下部に記入してください。

論文は、原則として、要旨、キーワード、目的（緒言）、方法、結果、考察、結論、文献、著者連絡先の順に記載してください。学術講演発表演題の二次抄録に関しては、規定の枚数（一般演題は A4 で 2 ページを目安、特別講演・教育講演・シンポジウム等は A4 で 2～4 ページを目安）であれば、必ずしもこの形式にとらわれません。

7. 論文・二次抄録の構成：

(1) 論文：要旨（400 字程度）、キーワード（4～5 語）、目的（緒言）、方法、結果、考察、結論、文献、著者情報の順に記載する。適宜、図表を挿入することができるが、本文の適切な位置に（図 1）、（表 1）などと表示する。構成を変更する場合は、その旨を投稿時に編集委員会に伝える。

(2) 二次抄録：原則として、目的（緒言）、方法、結果、考察、結論、文献の順に記載するが、ページの範囲内であれば、構成は自由とする。適宜、図表を挿入することができる。

8. 学術用語は日本医学会の所定に従い、英語のつづりは米国式とする。外国の地名、人名は原語のまま記載する。句読点は「、」、「。」を用い、単位、記号は m, cm, mm, mg, µg, °C などとする。

9. 文献の引用：論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中では引用部の右肩に文献番号¹⁾²⁾を付ける。本邦の雑誌名は日本医学雑誌略名表に、欧文誌は Index medicus に準じる。

〔文献の記載例〕（記載例に従い、「：」、「、」、「。」などを正しく使用する。）

(1) 学術雑誌の場合：著者名（全員）：表題。雑誌名。巻：頁—頁，発行年。

（例）1) 山田太郎，鈴木一郎，佐藤花子：性同一性障害の臨床解析。精神医学。43: 17-24, 2001.

2) Cohen-Kettenis PT, van Goozen SHM. Sex Reassignment of adolescent transsexuals: a follow up study. J Am Acad Child Adolesc Psychiatry. 36: 263-271, 1997.

(2) 単行本の場合：著者名（全員）：表題。編者名。書名。発行所所在地：発行所，引用頁—頁，発行年。

（例）1) 山田太郎，鈴木一郎，佐藤花子：改正特例法。小川良男編。性同一性障害者性別取扱特例法。大阪，日本出版，120-145, 2008.

2) Hoffman MS, Cavanagh D: Malignancies of the vulva. Thompson JD, Rock JA eds. TeLinde's Operative Gynecology, 8th ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins, 1331-1334, 1997.

10. 論文掲載料：規定内に要する費用は無料とする。規定を越える部分の印刷に要する費用（カラー写真・図表の使用等）は著者の負担とする。

11. 倫理的配慮：個人情報保護や倫理面などに十分に配慮して論文を作成すること。また、その旨を論文内に記述すること。他の著作物等からの写真、図表等を含む場合は、その権利者に許可を得ること。編集部で判断した上で適当と考えられる場合に限り、採否を決定するため査読を行なう。

12. 投稿論文の採否：

(1) 原著論文，研究報告，臨床，症例等に関しては，査読者（レフェリー）の意見を参考に編集会議で採否を決定する。採用，不採用，条件付き採用の別を投稿者に連絡する。条件付き採用の場合は，査読者の意見等を伝え，修正がなされた後，再投稿を依頼する。

再投稿時には，査読者（レフェリー）の意見に対しての回答，修正箇所をリストにし，修正部分を明示した原稿とともに送付するものとする。再審査の後，最終的に採用が決定した論文に関しては，希望により掲載証明書を発行する。

(2) 学術講演発表演題の二次抄録，依頼稿に関しては査読を設けない（ただし，編集事務局において査読が必要と判断されるものを除く）。

(3) 査読者名は公表するが，対応した論文は公表しない。

13. 再 投 稿：再投稿の場合も，原本の Microsoft Word ファイル（あるいは，テキストファイル）と PDF ファイルの両ファイルを電子メールの添付ファイルとして送信，あるいは，CD-R 等のメディアの郵送により，上記の宛先に送付する。

14. 最 終 原 稿：PDF ファイルを最終原稿として，そのまま学会雑誌（ISSN 2759-6230）および学会電子ジャーナル（ISSN 1883-5236）に掲載する。

15. 著 作 権：本誌，学会電子ジャーナルに掲載した論文の著作権は，日本 GI(性別不合) 学会に帰属するものとする。

16. 別 刷：原著論文，研究報告，臨床，症例等に関しては，別刷 30 部を著者に無料で贈呈する。贈呈分以上を希望する場合は 50 部単位で実費作製する（30 部は無料，以後，追加 50 部につき 5,000 円）ため，投稿時に必要部数を記入することとする。

性同一性障害 108 症例における手術成績 (14 ポイント, 太字, 中央揃え)

(10 ポイント, 1 行あける.)

山田太郎^{a)}, 鈴木一郎^{b)}, 佐藤花子^{a)} (12 ポイント, 中央揃え)

^{a)}〇〇大学医学部附属病院, ^{b)}△△病院 (10 ポイント, 中央揃え)

(10 ポイント, 1 行あける.)

要旨 (太字, 中央揃え)

性別適合手術を施行した性同一性障害 108 症例を対象として, その・・・・ (10 ポイント, 400 字程度)

(10 ポイント, 1 行あける.)

キーワード: 性同一性障害, 性別適合手術, ホルモン療法,・・・・ (4~5 語, 50 音順)

(10 ポイント, 1 行あける.)

目的

性同一性障害では,・・・・と報告されている¹⁾. 今回, 私達は, 性同一性障害 108 症例における手術・・・・

(本文は 10 ポイント, 文献は, 上付き, 半角, 片カッコで示す.)

(10 ポイント, 1 行あける.)

方法

2001 年 1 月から 2008 年 12 月までに, 〇〇大学医学部附属病院において性別適合手術を施行した性同一性障害 108 症例を対象とした. 同意のもと, 術後に無記名の自己記入式質問紙調査を施行し,・・・・

(10 ポイント, 1 行あける.)

結果

症例の背景を示す (表 1). 年齢は 28.2 ± 6.8 (mean $\pm$ S.D.) 歳, ホルモン療法の期間は,・・・・

(図表は本文中の適切な部位に入れる.)

・・・・であった.

(10 ポイント, 1 行あける.)

考察

今回の調査で,・・・・

(10 ポイント, 1 行あける.)

結論

性別適合手術では,・・・・

(10 ポイント, 1 行あける.)

文献

1) 山田太郎, 鈴木一郎, 佐藤花子: 性同一性障害の臨床解析. 精神医学. 43: 17-24, 2001.

2) Cohen-Kettenis PT, van Goozen SHM. Sex Reassignment of adolescent transsexuals: a follow up study. J Am・・・・

(10 ポイント, 1 行あける.)

***著者連絡先:** 〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

〇〇大学〇〇学部 東京太郎

URL :

e-mail :

Phone :

Fax :